

# 長期外固定後に高度足関節拘縮を呈した症例に対する三分割構造シリアルスタティック装具の臨床経過に関する症例報告

## 1. 研究の対象

2020 年 12 月から 2022 年 7 月までの期間に南和歌山医療センターにて、交通外傷等により下肢の高度骨折を受傷し、長期の外固定後に足関節拘縮を呈した患者のうち、作業療法においてスタティック・プログレッシブ装具を用いた治療を実施した症例。

## 2. 研究目的・方法

上記患者について、診療録に記載された既存の情報を用いて、スタティック・プログレッシブ装具の設計内容および装具使用後の臨床経過を後向きに整理し、今後の足関節拘縮に対する装具療法の参考とすることを目的としています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、診断名、受傷機転、外固定期間、装具設計の内容、装具使用後の経過（関節可動域、皮膚トラブルの有無、装着状況等）、診療上必要に応じて撮影された単純 X 線画像（新たな撮影は行いません）

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒646-8558

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者：所属 リハビリテーション科

氏名 藤澤 秀生

電話：0739-26-7050